

9月13日 会員卓話



坪田祐貴 会員

私、1952年生まれ。今年、還暦を迎えました。暦上、60年が人生のワンサイクルです。60年を無事に過ぎれば、更に60年生きられるとのことですが。しかし、体力的には加齢に伴い、今まで通りにはいかないようです。そのことを判りきらなければいけない様です。

最近、重光葵を主人公にした小説を読みました。主人公は、戦中、戦後、日本にとって非常に重要な外交に尽力した方です。1945年9月2日、ポツダム降伏文書受諾のミズリー艦上で、日本代表として調印した人で、戦後アメリカ外交に対して徹底して日本自主路線を貫徹した人です。

巣鴨拘置所での7年間の拘置期間に書いた書籍、『昭和の動乱』

(上・下) を是非、読破したくてネットでやっと手に入れました。昭和27年発刊、250円の書籍が1500円のプレミアムが付いていました。今ある日本が、戦中、戦後の人達の上に成り立っていることに、又、将来の私達の行動の規範としたいと思います。

私の今のもうひとつの楽しみは、毎朝、東京新聞に目を通すことです。大手新聞誌より、いろいろと考えさせられる紙面が載っています。是非、機会がありましたらお読みください。

9月7日の合併認証状伝達式での渡邊ワタミ会長の『夢・奉仕を通じて平和を』の話に大変感銘を受けました。私達ロータリークラブが行っている奉仕活動を、渡邊会長ひとりで十分に活動していることに、非常に刺激を受けました。

私ひとりでは微力ですが、一ロータリアンとして、皆様と一緒にロータリー活動を続けていきたいと思っております。